

次期教育大綱の方向性について (令和8年度第1回徳島県総合教育会議)

○議事

- (1) 現徳島教育大綱に係る取組状況（報告）
- (2) 意見交換
 - ① 「2040年代の徳島の姿」と
「求められる資質・能力（活躍する人財像）」
 - ② 「本県における教育の方向性・役割」

○議事の進め方

- ・意見交換頂く内容は2項目
 - ①「2040年代の徳島の姿」と
「求められる資質・能力（活躍する人財像）」
 - ②「本県における教育の方向性・役割」
- ・①②のそれぞれについて、次期大綱に盛り込むべき内容（キーワード）を御提案頂くスタイルで実施
- ・皆様からのご提案を、会議モニターに追記し、議論の見える化

○ご提案頂く際の「視点」について

①「2040年代の徳島の姿」と「求められる資質・能力（活躍する人財像）」

・ 「2040年代の徳島の姿」

：社会情勢の変化により、どのような影響が考えられるのか。

・ 「求められる資質・能力（活躍する人財像）」

：「2040年代の徳島の姿」を踏まえ、
求められる資質・能力（どのような人財が活躍するのか）。

：児童生徒がこれから身に付けるべき資質・能力。

②「本県における教育の方向性・役割」

：「アプローチの方法（取り組みの視点や具体例）」を示しつつ、
これからの「方向性・役割」について

○次期教育大綱の策定スケジュール（予定）

- ・ R 8 . 7（今回）第 1 回総合教育会議
- ・ “ . 8 頃 第 2 回 “ （大綱骨子案）
※教育振興審議会と合同開催
- ・ “ . 1 0 頃 第 3 回 “ （大綱素案）
- ・ “ . 1 1 頃 パブコメ
- ・ R 9 . 1 頃 第 4 回総合教育会議（大綱最終案）
- ・ “ . 3 大綱策定

※策定は振興計画と一体的に実施

2040年代の徳島の姿	求められる資質・能力（活躍する人財像）
・ 生産年齢人口の減少 ・ 児童生徒数の減少 ・ 2050年カーボンニュートラルに向けた動きの加速 ・ 生成AIの実装によるDXの更なる進展 ・ エッセンシャルサービス業での業務の自動化	・ 地域社会に興味・関心を持ち、積極的に貢献しようとする姿勢 ・ 異なる文化や価値観を理解し、グローバルな視野から問題を発見・解決する力 ・ デジタル化が進む社会においても、データには表れにくい地域の声に耳を傾ける力 ・ 「正解のない社会課題」を主体的に探究・解決しようとする姿勢

2040年代の徳島の姿	求められる資質・能力（活躍する人財像）
・ 就業構造の変化による、理系人材不足の可能性	・ 文理融合の視点を持ち、分野横断的な教養と科学的思考力を備え、新しい価値を創造する力 ・ 夢と希望を力に、地域のより良い未来を描き、その実現に向けて自ら行動を起こす姿勢 ・ 「時代を超えて変わらない価値あるもの」に対する理解 ・ 郷土への愛着や郷土の歴史・文化に対する理解

2040年代の徳島の姿	求められる資質・能力（活躍する人財像）

本県における教育の方向性・役割

- ・ 国際的視野で地域社会に貢献する「グローバル人材」の育成
- ・ 時代の変化に左右されない普遍的な価値（ユニバーサルバリュー）の理解
- ・ 郷土への愛着や郷土の歴史・文化に対する理解を養うこと
- ・ 発達段階に応じ、学校が「社会との結節点」として、実社会につながる学びの機会を提供すること
- ・ 教育改革の推進（高校・義務）
- ・ 登校を前提としない一人一人に寄り添った多様な教育環境の充実
- ・ 「インクルーシブ教育」の推進

本県における教育の方向性・役割

本県における教育の方向性・役割